

1 目指す学校像

「HARD SPIRIT 貫徹精神」の下、幅広い知識と教養を身につけ、逞しく豊かな心身を培い、郷土や我が国さらには国際社会の発展に貢献する志を涵養し、国際人として大局的な視点に立って行動できる人間を育てる学校を目指す。

2 本年度の教育目標

①学びの習慣の確立と学力の向上

生きる力につながる確かな学力の定着を目指し、学びのプロセスとしての学習習慣の確立と共に学びの結果としての学力の向上を図る。

②特別活動と部活動の充実

逞しく豊かな心身と他者との協働を喜びとできる「睦み」の心の育成を目指し、社会性、協調性、主体性を育てる特別活動と部活動の充実を図る。

③キャリア教育と地域貢献の推進

社会の中で自己の在り方生き方を見つめ、社会に貢献する志の涵養を目指し、キャリア教育や道德教育を推進すると共に、生徒、保護者、地域社会に開かれ、地域社会に貢献する教育活動を推進する。

④英語運用力の向上と国際交流活動の推進

上記3点の育成を基盤としたその上に、国際人としての知性・感性を備え、大局的な視点に立ち、日本の内外の問題に対する正しい理解に基づいて行動できる人間、すなわちグローバルリーダーの育成を目指し、英語運用力の向上を図ると共に国際交流活動を推進する。

3 評価

項 目	昨年度の課題	本年度の目標	目標達成のための手だて	自己評価	外部評価	今後の課題
学びの習慣の確立と学力の向上	・家庭学習の習慣付け ・推薦入試と一般入試の的確なさびわけ指導 ・一般入試に向けた効果的な受験指導	1年 ①家庭学習90時間/月 ②国・数・英3教科総合の平均偏差値50以上 - 各教科の偏差値53以上 ③図書貸出数1000冊/年	①「進路実現ノート」を通して、個々の学習を把握する。 ②「予習・復習課題を精選し、確実な提出を習慣づける。 ③「図書オリエンテーションを実施すると共に、生徒全員に貸し出しを行う。			
		2年 ①家庭学習100時間/月 ②教科総合の平均偏差値50以上 - 各教科の偏差値53以上 ③図書貸出数1000冊/年	①「進路実現ノート」を通して、個々の学習を把握する。 ②把握する。 ③「生徒全員に貸し出しを行う。			
		3年 ①国公立大学合格者100名以上 ②図書貸出数1000冊/年	①「進路実現ノート」を利用し、目標達成意識を向上させる。 ・個別試験対策時期の適正化を図る。 ・模試等の結果を分析協議し、事後の指導に生かす。 ②「受験指導の一環として読書を推奨する。			
特別活動2と部活動の充実	・部活動の充実と管理 ・高校生活支援プログラムの充実 ・健康を維持・増進するための取組の充実	1年 ①皆勤 ②部活動加入率90%以上 ③体力運動能力テスト結果を全平均均並にする ④学校適応100% ⑤学校行事に積極的に参加する	①「1年皆勤賞」を設定し啓発する。 ②「魅力ある部活動づくりを進める。 ③「体育の授業を通して、取組む意識の向上を図るとともに自己の限界に挑戦させる。 ④「高校生活適応支援プログラム」の実施 ・「学校生活アンケート」の実施および対応。 ⑤「各行事において、特別活動委員が中心になりホームでの積極的な参加を促す。			
		2年 ①皆勤 ②部活動加入率90%以上 ③体力運動能力テスト結果を全平均均並にする ④進路志望決定率100% ⑤学校行事の中心となって、各行事を充実した活動にする	①「学校生活アンケート」の実施および対応。 ②「魅力ある部活動づくりを進める。 ③「体育の授業を通して、取組む意識の向上を図るとともに自己の限界に挑戦させる。 ④「進路検討会の実施(8・3月)。 ⑤「各行事において、特別活動委員及び有志を参画させ企画・運営させる。 ・各行事(あけぼの祭・ホームマッチ・ユニセフ支援活動等)において、生徒会を中心に企画・運営・評価をさせる。次年度に引き継ぐ体制作りを行う。			
		3年 ①皆勤 ②部活動成績上位入賞 ③3年間の活動 ④学校行事の中心となって、各行事を充実した活動にする	①「朝食摂取率100%を実現するよう調査・指導する。 ②「学校生活アンケート」の実施および対応。 ③「保健体育の授業を通して、心身のコンディショニングを整えられるよう体づくりを指導する。 ・年間・月間・週間の練習計画を立て、目標達成に向けて計画的な部活動が行えるようにする。 ④「各行事において、特別活動委員を中心に参加させる。			
キャリア教育と地域連携の推進	・地域連携、地域貢献活動の推進 ・WALKプランの再考・充実	1年 ①植栽活動や地域との連携活動への参加 ②学校美化への主体的な取組100% ③WALKプラン自己評価4.0以上 ④高大連携授業等への参加者増加	①「植栽活動年間計画を作成し、連絡の早期化と積極的な参加を呼びかける。 ・生徒の暮らす地域の行事や一斉清掃等に積極的に参加するよう指導する。 ②「日々の清掃活動において、生徒の役割を明確にし、主体性を持って取組ませる。 ③「WALKプランによる学びを希望の進路と運動させる。 ④「ホーム担任会を活用して連携授業の重要性を伝え、積極的に参加を呼びかける。			
		2年 ①植栽活動や地域との連携活動への積極的な参加 ②学校美化への積極的な取組100% ③WALKプラン自己評価4.0以上 ④高大連携授業等への参加者増加	①「延べ150人以上の参加を目指し、植栽活動年間計画を作成し、連絡の早期化と積極的な参加を呼びかける。 ②「日々の清掃活動において、生徒の役割を明確にし、主体性を持って取組ませる。 ・生徒の暮らす地域の行事や一斉清掃等に積極的に参加するよう指導する。 ③「WALKプランによる学びを希望の進路実現と運動させる。 ④「ホーム担任会を活用して連携授業の重要性を伝え、積極的に参加を呼びかける。			
		3年 ①社会貢献意識の明確化50%以上 ②学校美化への積極的な取組100% ③高大連携授業等への参加者増加	①「将来の自己像を持つ主体的に進路選択ができるよう指導する。 ②「日々の清掃活動において、生徒の役割を明確にし、主体性を持って取組ませる。 ③「ホーム担任会を活用して連携授業の重要性を伝え、積極的に参加を呼びかける。			
英語運用力の向上と国際交流活動の推進	英語検定取得に向け、普通科生徒への取組強化 ・国際交流体験の情報発信の充実	1年 ①英検取得目標 - 普通科準2級70%以上 - 英語科準2級100% - 英語科2級取得20%以上 ②国際交流体験における主体的な情報発信	①「英検合格につながる授業展開と扱う教材の精選を図る。 ・情報の周知徹底と受験意欲の強化を図る。 ・学年間と連携の充実を図る。 ②「学校設定科目を通して大局的な視点が得られるよう指導する。 ・「こく交流ジャーナル」をタイムリーに発行する(年2回)。 ・オーストラリア・イギリス語学研修旅行の報告会を帰国後1ヶ月以内に実施する。			
		2年 ①英検取得目標 - 普通科準2級100%、2級10%以上 - 英語科2級50%以上 ②国際交流体験における主体的な情報発信				
		3年 ①英検取得目標 - 普通科2級30%以上 - 英語科2級100%、準1級5名 ②国際交流体験における主体的な情報発信 ③英語ディベート全国大会出場				
学習環境整備	南海地震に備える安全対策の推進 ・センター跡地の有効活用	①生徒の学習環境の整備・充実が常に図られている ②安心・安全な教育環境が整っている ③旧教育センター跡地の有効利用策の採択	①「日常点検による修繕必要箇所の早期発見と対応を行う。 ・必要物品などの情報収集、整理と迅速な対応をする。 ②「関係機関との連携協力によるスムーズな耐震工事の進捗を図る。 ・多額の予算が必要なものは、優先度を考慮した改修要望を出す。 ・防災用品の購入。 ③「旧教育センター跡地の利用計画の練り直しと要望の継続を行う。			
関係機関との連携協力	・学校ホームページの認知度アップ ・学校発出文書の確実な送達	①情報発信の拡充 ②PTA総会への保護者参加率の向上 ③中学校の生徒・教員及び地域住民が西高のよさを知っている	①「PTA広報部を活性化し、「西高だより」を更に充実させる。 ②「学校HPや日々の活動を掲載する。 ③「学校行事の案内を、地域や中学校に向けて積極的に発行。			